

2024 年度 第 1 回 兵庫医科大学病院医療安全業務監査委員会報告書

医療安全業務監査委員会は、兵庫医科大学病院医療安全業務監査委員会規程第 2 条に基づき監査を実施しましたので、その方法及び結果につき以下のとおり報告します。

1. 監査方法

兵庫医科大学病院における医療安全に係る業務の状況について、病院管理者等からの聴取及び当委員会から事前提示を求めた資料を閲覧する等の方法によって監査を実施しました。

- ・日 時：2024 年 7 月 9 日（火）15:57～17:10
- ・場 所：兵庫医科大学病院 10 号館 4 階 第 5 会議室
- ・委員長：宮崎 浩彰（関西医科大学 理事長特命教授（医療安全担当））
- ・委 員：亀井 尚也（かけはし法律事務所 弁護士）
辰馬 勝 （関西学院同窓会 顧問）

2. 監査実施項目

（1）業務状況報告

- ① 前回、前年度の業務監査委員会の提言に対する回答
- ② 医療安全管理部年間業務状況報告（医療安全管理責任者の業務報告も含む）
- ③ 医療安全審議委員会報告
- ④ 医薬品安全管理責任者業務状況報告
- ⑤ 医療機器安全管理責任者業務状況報告
- ⑥ 医療放射線安全管理責任者業務状況報告

（2）栄養管理に係る医療安全対策

- ① 栄養管理に係る医療安全対策チェックリスト
- ② 医療上の事故事例の対応状況

3. 監査結果

（1）業務状況報告

- ① 前回、前年度の業務監査委員会の提言に対する回答

前回の本委員会の提言で求めていた患者の検査台や椅子からの転落事故の安全対策については、運用方針を定められた上で、職員による車いす等の移乗に関する研修ならびに職員や患者家族が患者のそばにすることができるスペースを確保されたことを確認しました。また、車椅子にクッションを詰めて高さを調整することで患者が移乗せずに検査を行なうなど工夫されており、速やかに改善されたことは高く評価されます。

また、前年度の本委員会の提言で求めていた診療用放射線の安全利用のための講習会の受講率向上については、2023 年度の受講率は 100%に達しないものの 2022 年度に比して大幅に改善していることを確認しました。なお、2023 年度私立医大協会医療安全相互チェック報告書によると貴院と受講率が同等かそれ以下の施設は参加 38 施設中 8 施設（21%）でした。全員が受講していることが求められますので、次年度 1 回目の本委員会にて今年度の受講状況を再度報告してください。

② 医療安全管理部年間業務状況報告（医療安全管理責任者の業務報告も含む）

医療安全管理部では医療安全に係わるモニタリング項目を設定されており、法令で定められた院内死亡届の提出率が 100%であることを確認しました。また、国内外で大きな課題になっている検査報告書の未確認による診療遅延対策については、報告書サポートチームを立ち上げ、未読報告書の確認方法の改善や異動医師への教育、全報告書の確認状況を部署へフィードバックする等の対策で、未読率が大幅に減少したことを確認しました。これらの取組みは極めて高く評価されます。

③ 医療安全審議委員会報告

委員会が毎月開催され、事案が協議されて必要な再発防止策が実行されていることを確認しました。引き続き個々の有害事象について十分な検討が行なわれることを期待します。一方、報告書確認サポートチームが精力的に活動され、未読報告書の確認を督促するだけでなくシステム改善を図られており、これらは高く評価されます。

④ 医薬品安全管理責任者業務状況報告

医薬品安全管理については、未承認及び適用外使用医薬品について審議され、必要なモニタリングが行なわれていることを確認しました。また、病棟薬剤師によるプリアボイド報告は継続的に実施され、その結果は各種会議体で共有され、広く院内に周知されていることを確認しました。国内外では医薬品の中断、再開等に関わる医療事故が未だに報告されており、システム対策に加えて医師・薬剤師など多職種での処方チェックを継続して取り組まれることを期待します。

⑤ 医療機器安全管理責任者業務状況報告

医療機器管理については、手術支援ロボットを含む医療機器の保守点検が計画的に実施されていることと必要な医療機器研修の実施記録が各部門から適切に報告されていることを確認しました。

⑥ 医療放射線安全管理責任者業務状況報告

医療放射線に関する安全管理については、CT における線量評価が行なわれ、線量が適切であることを確認しました。引き続き医療スタッフが防護具を適切に利用し、被ばくに配慮した手技を行うことで、より少ない線量で診療が行われることを期待します。

（2）栄養管理に係る医療安全対策

① 医療安全業務監査委員会チェックリスト

栄養管理における医療安全対策は多職種が参加する栄養委員会において審議され、必要な情報支援システムが導入されているなど適切な対策が講じられていることを確認しました。特に、給食システムに食事オーダーが取り込まれるタイミングで食物アレルギーなどの医療情報が取り込まれており、食物アレルギーをきたす食品の提供を確実に防ぐ仕組みが構築されている事が確認できました。また、栄養情報提供書ならびに栄養管理計画書が活用されていることを確認しました。この点は重要と思いますので、今後とも確実な体制をとられるよう期待します。

なお、食事の味付けについては、管理栄養士や管理職による検食だけでなく患者を対象とした嗜好調査が行なわれ、メニューの改善を行っていることを確認しました。引き続き病態に適した、安全で患者満足度の高い食事が提供されるよう努められることを期待します。

② 医療上の事故事例の対応状況

栄養管理領域におけるインシデントについては、新規採用した製品の成分が給食管理システムに適切に登録できておらず、アレルギー食品の誤配膳につながった事例が報告されました。既に全食品のアレルギーコメントが見直され、登録内容が適正であることを確認しました。引き続き登録に抜け漏れのない体制の構築が図られることを期待します。

また、ホットタオルについて職員の手による温度確認をしたものの結果的に熱傷をきたしたインシデントが報告されました。日本医療機能評価機構 2020 年第 63 回報告書において温めたタオルによる熱傷に関連した事例が取り上げられていますが、温度に関する客観的な指標に関する記述はありませんでした。本件に関する安全対策の充実が期待されます。

4. まとめ

医療安全に係る業務について監査を実施しましたが、適正な管理が行われ、病院のガバナンスならびに医療安全管理体制が機能していることを確認しました。当委員会としては、引き続き改善活動について検証するとともに医療安全管理体制の強化や医療安全文化の向上が継続的に図られることを期待しています。

令和 6 年 8 月 26 日

兵庫医科大学病院医療安全業務監査委員会

委員長 宮崎 浩彰

委員 亀井 尚也

委員 辰馬 勝